

電気工事へ関心持って

協同組合 青年部会 大曲工高生に体験の場



照明回路の配線をつなぐ生徒

を支える仕事をしている人たちはずいと思ったと話した。

交流会は21日に実施した。高校生に電気工事業界に関心を持ってもらい人材確保につなげようと2016年から続けている。(佐藤拓)

大曲仙北電気工事協同組合の青年部会(佐々木一貴会長)は、大仙市の大曲工業高校で生徒に電気工事を体験してもらう交流会を開いた。電気科1年の56人が参加。高所作業車に乗り、高さ約15メートルで行われる工事の雰囲気を感じた。実習室では、テレビやアンテナを接続する同軸ケーブルへの金具取り付け、分電盤に使う端子の圧着、照明回路の配線に挑戦した。高所作業車に乗った宮川琉偉さんは「高くても揺れない



生徒は高所作業車に乗って工事の雰囲気を味わった